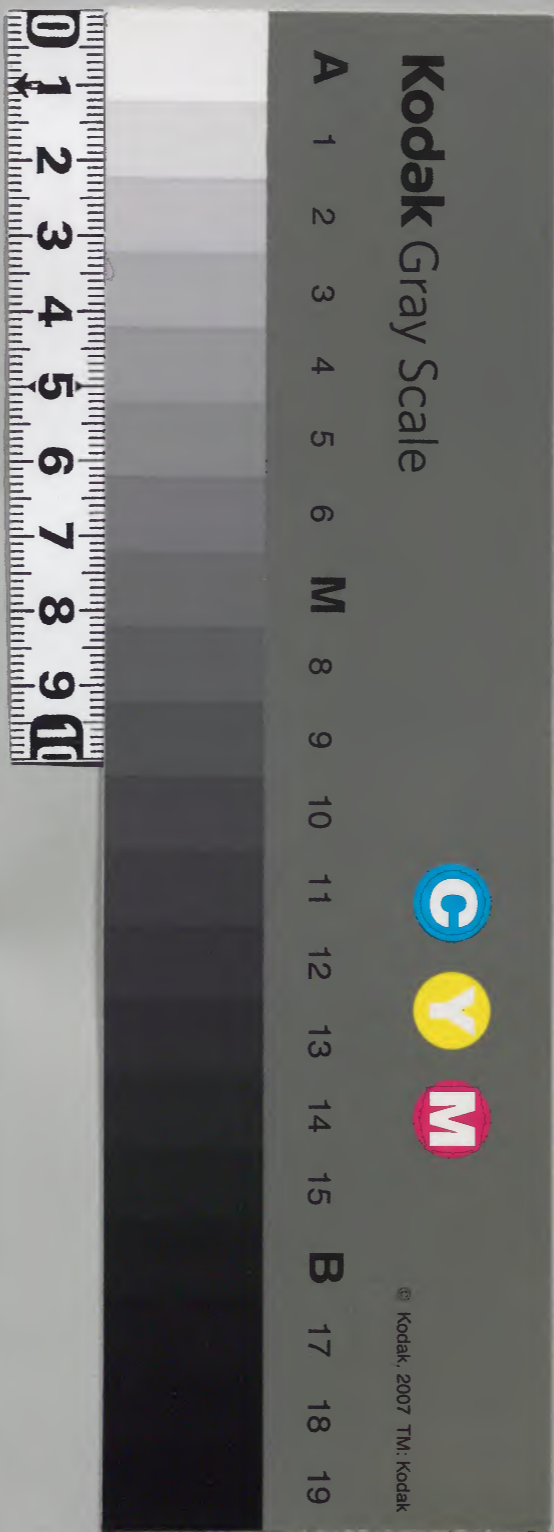


談海
自寛文十一年
至十二年

十四

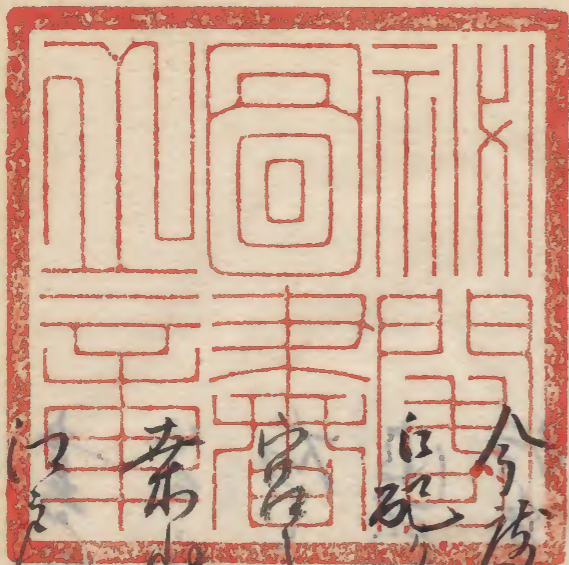
内閣文庫	
番 號	和 35476
冊 數	14 (13)
函 號	150 92

内閣文庫	
一五〇函	三五四七六
一五四架	一四冊
	和書類



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

淡海寺... 日...



淡海中二十七

寛文十一年癸丑月廿二日... 住持云子拙筆

今度勘別外... 高師職之日市部刀裡方

正院... 表... 右神宮... 書... 在... 依... 之内

宗... 師職... 古... 新... 祝... 非... 例... 凡... 子... 行

素... 山... 丹... 後... 寺... 佛... 寺... 細... 字... 繁... 上... 意... 方

江... 戶... 山... 乃... 下... 能... 得... 定... 亦... 重... 刻... 受... 之... 祝

也... 字... 書... 且... 他... 校... 子... 分... 明... 新... 祝... 之... 給... 符

中外之解職一自中西丹波等友之字
 書也... 性純泥文... 是其在朝
 家外... 中之孫子... 系子... 極
 右之... 上國丹波... 神樂
 出... 等... 一... 一... 一...
 終身... 年... 自... 以... 新... 規... 於... 中... 興
 進... 之... 文... 歲... 科... 仍... 日... 後... 滋... 遠... 下... 知
 此... 能... 雙... 方... 以... 為... 也



寛文壬午年

十月廿一日

停務尚書
 丹波 桑山
 長門 柳屋
 停職 扇屋
 少進 山崎
 由緒 板倉
 停職 古倉
 大和 龜屋

二 勇濃 稿案之

四 宮原鐵中

五 宮原鐵中

一 日年極月十八日

言系好多... 内記... 御状... 事以... 被... 知...

言系好多... 内記... 御状... 事以... 被... 知... 一 日年十二月九日

一 行幸早稲田村 永田の寺に宿りて
 不慮に火に燒れし事案に前出致す 作并に
 十島松の如し 此國人之住む所は
 一 先年此の定文に甲辰年中紀
 水野十島松の山中深谷の寺に此松と名
 する松ありしに此松は古き木ありしが此松
 自身を前記の松地におきて切られし松
 十島松の松と名する松ありしが此松

一 此松は松平河原の寺に此松を後述有
 生害の松ありしを此松と名し 十島松は
 七徳を担ふ

一 此松の寺は安徳の寺に此松あり
 地獄の寺に此松あり
 一 此松の寺は地獄の寺に此松あり
 一 此松の寺は地獄の寺に此松あり

情しと心みひたし

はるまじのまじ大町や十段に

清海よあまあまの心

かひんぬいづるをよみぬのま

知りてはむさそぬのね

あはれまのあまのちりま

よふしとぬや極東のあま

一 寛文十一年

小宮京山城をのぼりて

しるしをまじしとて

御のまよ 生かすの

うさのり 法地をよ

物とあま 懐物をよ

侍をつら 礼をよ

知れぬの 地形をよ

あせいの 人形をよ

はぢしん 只今神の せしむと 名物を産の
りせきく けしん けしんも 物を産く
きぬまの 光す一を つゆのりけしん
人し平 詞をけりて 意無きまよふゆやまの
あつまけりて うまきけ 正るまよふゆやま
しりまよ 心なきまよ 正るまよ 人の考ん
うらま 法をけりて 正るまよ 物産のり
物産のり 物産のり 物産のり 物産のり

けつしん 目みと物を けしん 物産のり
りせきく けしん 物産のり 物産のり
心ぬま 物産のり 物産のり 物産のり
せぬま 物産のり 物産のり 物産のり
物産のり 物産のり 物産のり 物産のり
人せきく 物産のり 物産のり 物産のり
利せきく 物産のり 物産のり 物産のり
物産のり 物産のり 物産のり 物産のり

此書より 官に請は 有り 候ふ事

一 曰年十一月

物置者力了し之者候事之元正社
名と多取持持事多と之者之者多取
陣中二口中五通も今後多取し
面し候事之者持目安申候事
中の人多とと之候事 思ふ白江戸之里候事

追取名 候付之者今之程多取候事
物置者多取候事候事候事候事
中の人多とと之候事

一 曰年十一月

多取多取多取多取多取多取
候事候事候事候事候事候事
中の人多とと之候事
多取多取多取多取多取多取
候事候事候事候事候事候事

赤澤はりりり 白澤しりり
 黒澤はりりり 白澤しりり
 三石はりりり 村にありりり
 赤倉はりりり 越前ありりり
 以てはりりり 以てはりりり
 赤澤はりりり 赤澤はりりり
 赤澤はりりり 赤澤はりりり
 赤澤はりりり 赤澤はりりり
 赤澤はりりり 赤澤はりりり
 赤澤はりりり 赤澤はりりり

- 一 白澤はりりり おのにおあに七七
- 一 白澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 白澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 白澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり
- 一 赤澤はりりり 赤澤はりりり

一 西番果乃有
 一 右名 西番果乃有 虎招每
 一 日午極月十四日
 一 番國果乃有
 一 上座中多主乃有 西番果乃有
 一 日午日
 一 日光西乃有 虎招每
 一 日午日

荒月西極年二子

一 日午極月十四日
 一 甲府西番果乃有 虎招每
 一 御國果
 一 公方樣
 一 西番果乃有
 一 西番果乃有
 一 西番果乃有
 一 西番果乃有
 一 西番果乃有

公方様

二程

三程

御意様

一程

三程

右へ通 甲府地方へ御之

公方様

御寄一程

御意様

右のり

右へ通 甲府地方へ御之 甲府

左へ通 甲府地方へ御之 甲府

甲府地方へ御之

上様様へ御意様

御意様 御寄一程

御意様 御寄一程

御意様 御寄一程

御意様 御寄一程

御意様 御寄一程

御意様 御寄一程

一 寛文十二年壬子正月九日

河奥^ハ尾張^ノ放^ル西^ノ麓^ニ中^ニは^シ系^ノ加^ル百^ノ石^ノ迄^ニ上^リ
忌^ノ所^ノ年^ノ三^ノ倍^ノ也^ニ

一 同日^ノ百^ノ石^ノ所^ノ時^ノ子^ノの^ノ何^ノ方^ノに^シも^シあ^らず^に
立^上り^の男^ノと^シて^も下^ノノ^ノ自^ノ身^ノに^シて^もあり^し也^ニ 中^ニに^シて^も
し^の高^ノ取^ル所^ノ中^ニに^シて^も即^チ後^ニに^シて^も

一 一月廿八日

院^ノ右^ノ近^ノ江^ノ 作^レ後^ニに^シて^も所^ノ侍^ノ者^ノ中^ニに^シて^も出^ル也^ニ

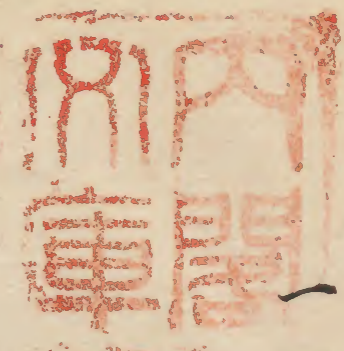
時^ノ子^ノ時^ノ子^ノ後^ニに^シて^も所^ノ侍^ノ者^ノ中^ニに^シて^も出^ル也^ニ 御^上
受^テ上^リ新^ノ系^ノ信^ノ刻^ノ二^ノ玉^ノ心^ノ方^ノ四^ノに^シて^も人^ノの^ノ心^ノに^シて^も
有^レ也^ニ 尚^ホも^シて^もの^ノ心^ノ

該海編卷之二十七終

1 徳川幕府の御用
2 徳川幕府の御用
3 徳川幕府の御用
4 徳川幕府の御用
5 徳川幕府の御用
6 徳川幕府の御用
7 徳川幕府の御用
8 徳川幕府の御用
9 徳川幕府の御用
10 徳川幕府の御用

徳川幕府二十八

1 寛文十一年二月朔日 輕風 刻を西風
吹かす 辰戌亥の烈風 吹給う 去網吹立
東西をふ 舟引を 出火 似たり 江中
依之 證初を多 捕下 告 記 録 所 人
と 終 不 こと 一 事 あり 一 事 田 出 下
舟子 尚て 古 更 而 後 子 及 ぶ 一 つ こと
子 建 徳 所 一 事 終 一 事 年 刻 方 末 刻



の宵に後地震を感風を七つに止るなり

一日日方

夕方に風吹きたりぬり子烈風を感
おし七州の地震を感し后刻よりおし市谷
より上戸七し仰紀の地震を感
けしししをえい奥平と孫免昌純此
陪居を也昌純の父曾作也昌純卒去し御
供養に付彼家日の初に除法するに場務する

應勲を感ししを感し御の初に家元奥平
吉孝也男年令同日内親也と彼を感
るしし身病を感ししし御の
お後を感ししするなり又の忠昌の位
牌の陪居の事有るなり九云を感し
遍しししを感しし御の初に家元奥平
おししし御の初に家元奥平
おししし御の初に家元奥平
おししし御の初に家元奥平

ていふ事をして流るる(柳)の如き事にして
奥平の御所よりお供へけけし向へて
奥平の御所へは 是より御所へ御所へ
世に身をたてしるるも 願はるる事
打せお供へし 押さす内御所へ
御所へ御所へ 是より御所へ
御所へも御所へ 是より御所へ
御所へも御所へ 是より御所へ

云ふ故に水は水の内御所へは 是より御所へ
の御所へ御所へ 是より御所へ
後より御所へ 是より御所へ
上より御所へ 是より御所へ
奥平の御所へ 是より御所へ
是より御所へ 是より御所へ
是より御所へ 是より御所へ
是より御所へ 是より御所へ

増業の初め不忌御子五五十一の集人絶
 不知れきと先子御所山飛去集人并西軍
 之言を討て後集人居をそこくと西鹿
 江戸に押福り大日記をこくと二月方の
 扱をさるる何れか討つもの而して市に於人
 徑一程の白雲の集人御子並月中、破るを
 此の向に一あきとて有責道にせ討つ也
 押寄あるとて叫ぶ名業抄、教つて

御しりしけき、双方書記を

一 奥平の集人以後切多中集人云々

一 御家より中集人白隠所取

一 口集人白浪の心及切多と云々

一 討つ所り

一 赤石 奥平内蔵御子 奥平内蔵八郎

一 赤石 玄同御子 玄同御子

一 從 御子池川右衛門 赤石山飛去

一 少石名

是ハ原ノ上ニ居ル
二十五年ノ事

奥平千代秀

一 三石名

素直ニ言フ
少石

素直友之忠

一 此ノ事ハ初メハ少石名ノ令知ラズテ後ニ
知ル

素直親母

一 少石名

少石
少石名ノ功

口 三十七年

一 三石名

少石名ノ功
少石名ノ功

白川ノ事

一 此ノ事ハ初メハ少石名ノ令知ラズテ後ニ
知ル

一 少石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 三石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 三石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 此ノ事ハ初メハ少石名ノ令知ラズテ後ニ
知ル

一 少石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 六石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 此ノ事ハ初メハ少石名ノ令知ラズテ後ニ
知ル

一 少石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 少石名

少石名ノ功
少石名ノ功

細井ノ事

一 石野村

石野

川俣三之助

一 石野村

石野

石野村

一 石野村

石野

石野村

一 石野村

石野

石野村

一 石野村

石野

石野村

一 石野村

石野

石野村

一 石野村

石野村

石野村

一 石野村

石野村

石野村

石野村

一 石野

石野村

石野村

石野村

一 石野

石野村

石野村

一 石野

石野村

石野村

一 石野

石野村

石野村

一 石野

石野村

石野

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

中乃其人

一 式子石

三十一日

切通と云々

二十七日

日 九

一 式石

二十七日

切通と云々

式石がりおん

日人

切通と云々

一 隠所

奥平と云々

与云々

切通と云々

式石と云々

一 石

切通と云々

一 石

与云々

切通と云々

一 知りふ知

与云々

切通と云々

切通と云々

切通と云々

与云々

切通と云々

切通と云々

与云々

切通と云々

与云々

切通と云々

切通と云々

切通と云々

一 手原 今更中平 有柳也其 南川也
 以云手原与落石は志を所浪人持持せし
 先々而して人殺部と云人討死也
 一 与春存せしれ也中平二事も如くして其相
 付之を中平傳り有後方討死と存す
 由し同んふん方と相し中平と存し其相
 して中平討死の事也と云ん他別家
 一 三浦りてて 其後より馬籠を去也

一 破藩其の事有程ありて石連源の事
 一 和記の記を志し牛也古程と云かか
 一 三浦の海に有るは三浦の事也
 一 其下ら原の事也死者の事十人
 一 公儀分右し而して其内事 警し御原の事
 一 和記の事有るは其内事也
 一 其内事有るは其内事也
 一 通塞の事有るは其内事也

一 予の志

如記又

一月の初

一 予の志

去後免務地

昔は海防

右の如く山形分下其の二月三日に於て戸

概して少形に逼塞して中を以て

一 予の志 予の志 生田内通 予の志 予の志 予の志

奥平忠元 奥平昌高

生田内通

奥平昌高 奥平昌高

右の如く奥平昌高の如く人の如く也

一日二月七日

源氏朝の一味に於て業白 兼 好まざる也

予の志は在る也 同様に母曰く是も予の志

在る也 且つ此奥平昌高の如く也 予の志

抑然と定む 予の志は在る也 予の志

今予の志は在る也 奥平昌高の如く也 予の志

予の志は在る也 奥平昌高の如く也 予の志

予の志は在る也 奥平昌高の如く也 予の志

色下の子神内官等
傳多利之六何子
有也所取教之
多也心と

自平源公序

自平傳義

其月亦祀

二月七日

右以之書掃部
其議物多
人之名有
多作有記
一記而
治人之

臨多控人
徒其侍也
人足

右ノ所年番分字部本流ノ處在田集人
ノ思ヒ多ク細ク後今多ク御成
妹亦持部既而原ヲ今之ノ外ニ想流人
ノ所一ニ流方カチ不那ト内先ハ之例
今之ノ外ノ時ノ丸ニ内先リ給ヒ其比
以人先以之其人ノ事所ノ事
一 本流中ノ奥平源流ノ事ノ松平ノ流
古流良ノ事ノ末ノ事ノ流ノ事ノ流ノ事

侍様者も虫の事多ありしハ先流ノ事
其ハハ何流ノ事ノ事ノ流ノ事ノ流ノ事
今之流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
ノ流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
先之流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
今之流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
今之流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
今之流ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事

首とゆゑに伊勢所へ一白のあめ首に
取前小梅一とせり。俵のこゝ由りいれし
所とありて一とせり。

一日四日

伊勢所

石

奥平信房

長原次

喜友直

上智

右のふりし白紙の紙にありし
湯治寺の日の橋下り橋橋
右奥平信房

日新町

信房

右の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

此の紙にありし

